

国語 評価規準【1年】

単元名	なかよしのき	
単元の目標	挿絵を見ながら気づいたことを話し、話を想像しながら物語を楽しむとともに、国語学習への関心や意欲をもつ。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	姿勢や口形、発声に注意して話している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。

単元名	たのしいいちにち	
単元の目標	学校生活のさまざまな場面の挿絵をもとに、挨拶の言葉を考え、場面に合わせた挨拶ができるようにする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	姿勢や口形、発声に注意して話している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって挨拶をしようとしている。

単元名	わたしのなまえ	
単元の目標	自己紹介の場面の挿絵をもとに、話し方や聞き方について話し合い、言語生活を広げる。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって名前を紹介し合おうとしている。

単元名	こえをあわせて あいうえお	
単元の目標	「こえを あわせて あいうえお」を、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意してはっきりした発音で読む。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって音読しようとしている。

単元名	みつけてはなそう たのしくきこう	
単元の目標	挿絵から見つけた話題にそって話し、相手の話題に対して、簡単なことを尋ねたり、応答したりする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に互いの話に関心をもち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。

単元名	くまさんとありさんの ごあいさつ	
単元の目標	登場人物の様子を考えながら、楽しく音読する。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。

単元名	ことばをつなごう	
単元の目標	言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、つながる言葉を考えて読んだり、書いたりする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。

単元名	けむりのきしゃ	
単元の目標	文章と挿絵を結びつけながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読む。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている

単元名	せんせいあのね	
単元の目標	話し言葉がそのまま文になることを知り、先生に話しかけるかたちの簡単な文章を書くとともに、敬体の文章に慣れるようにする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	文の中における主語と述語との関係に気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。

単元名	みんなにはなそう	
単元の目標	身近なことや経験したことから話題を決め、必要なことを思い出して、順序を考えて話す。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。

単元名	よくみてかこう	
単元の目標	身近なものを観察し、気づいたことを簡単な絵や文で表し、書いたものを読み合って感想を伝え合う。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている

単元名	すずめのくらし	
単元の目標	身近なものを観察し、気づいたことを簡単な絵や文で表し、書いたものを読み合って感想を伝え合う。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及を読み、書いている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。

単元名		しらせたいことをかこう
単元の目標		身近なできごとや経験から知らせたいことを選び、簡単な文章を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。

単元名		おはなしのくに
単元の目標		挿絵を見ながら昔話などに興味をもち、読書をする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を読もうとしている。

単元名		おおきなかぶ
単元の目標		繰り返しの展開を楽しみながら、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。

単元名		えにっき
単元の目標		身のまわりのできごとや経験したことを、絵と文で表現する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。

単元名	なつの おもいでを はなそう	
単元の目標	相手の話の内容を受けて話したり、自分からすすんで話したりする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。

単元名	けんかしたやま	
単元の目標	場面の様子を想像しながら、お話を読む楽しさを味わう。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。

単元名	だれがたべたのでしょうか	
単元の目標	文の中における主語と述語との関係に気付いている。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。

単元名	たのしかったことをかこう	
単元の目標	日常生活の中から書くことを見つけ、簡単な文章を書く。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

単元名	みつけたよ	いきもののひみつ
単元の目標	生き物と触れ合ったことや見聞きしたことを思い出して書く。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

単元名	はたらくじどうしゃ	
単元の目標	「やくわり」と「つくり」に気をつけて、はたらく自動車について説明した文章を読む。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。

単元名	のりものカードでしらせよう	
単元の目標	乗り物について、カードを用いて順序にそって簡単な構成の説明の文章を書く。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。

単元名	えを 見て おはなししよう	
単元の目標	絵を見て話題を見つけ、友達と話したり、友達の話を受けて答えたりする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。

単元名	うみへのながいたび	
単元の目標	白くまの様子を考えながら声に出して読み、写真と文から、誰が何をしたかを確かめる。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。

単元名	きこえてきたよこんなことば	
単元の目標	写真をもとに、ふきだしの中の言葉を考えて、お話を書く。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。

単元名	こころ ぽかぽか 手がみを かこう	
単元の目標	相手を決めて、気持ちが伝わるように手紙を書く。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。

単元名	スイミー	
単元の目標	どのようなお話か考えながら読み、おもしろかったところを紹介する。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。

単元名	「おはなしどうぶつえん」をつくって、本を しょうかいしよう	
単元の目標	動物の出くる本を読んで、友達に紹介する。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。

単元名		みぶりでつたえる
単元の目標		文章と絵の対応に気をつけながら読み、いろいろな身振りが表すことを説明する文章を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。

単元名		学校の ことを つたえあおう
単元の目標		学校で働く人に、知りたいことを尋ねて、聞いたことをメモをもとに学級のみんなに知らせる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。

単元名		思い出のアルバム
単元の目標		経験したことや見たことを思い出し、わかりやすい文章を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ「」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。

単元名		お手紙
単元の目標		様子を思い浮かべて読み、登場人物に手紙を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	文の中における主語と述語との関係に気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。